

## 6. ブラジルの民族系民間企業 - 経済成長下、力をつける企業アクター

### イ. 調査の目的

ブラジルが世界経済に与える影響力が拡大している。これに伴って、ブラジル企業の動向も注目されている。同国の経済成長を支えるアクターとして、従来の政府系企業や多国籍企業に代わって、民族系民間企業が急速に存在感を増し始めている。

ブラジルの民族系民間企業の活動範囲は同国内に加えて、中南米地域や広く世界各国に広がろうとしている。

日本ではブラジルにおけるこのような状況についての情報が極めて少ない。一方、日本企業によるブラジルへの投資が拡大する傾向もうかがえる。この調査報告書は、ブラジルにおける民族系民間企業の動向を分析することによって、今後の対ブラジル関係の強化に資する情報提供を目的としている。

### ロ. 調査結果の概要

本報告書は次の2章と参考資料で構成されている。

#### 第1章 ブラジルの民族系民間企業 その概要と展開

ブラジルでは政府系企業と外資系企業、民族系民間企業の3形態の企業が併存している。本報告書で研究対象とする「ブラジル企業」は、民族系民間企業である。これらのブラジル企業は国外においてもライバル、あるいはパートナーとしてその動向が注目されている。

ブラジル国内における企業の位置づけを500大企業の売上高比率から業種別に、外資系企業や政府系企業と比較することによって、明らかにしている。2008年9月のリーマン・ショック後も、ブラジル経済は安定的な成長を遂げていることが評価されている。これに関連して、ブラジル主要企業の経営指標の動向から、09年の決算報告では堅調な企業業績の回復がうかがえる。ブラジル企業は近年、規模の巨大化が目立っている。これにはブラジル国内資本間のM&Aが増加していることが反映している。

#### 第2章 ブラジル企業の海外戦略

ブラジル企業も国外市場拡大のための投資を積極的に展開している。そのために、国境を越えた企業買収・合併(クロスオーバーM&A)にも積極的に取り組んでいる。その対象地域としては、中南米地域が最も多い。ブラジル企業の中から多くのTrans-Latin Company(中南米型多国籍企業)が生まれている背景には、M&Aの効果が指摘されている。

ブラジル企業は他の中南米諸国企業に比べて、海外の証券市場への上場に積極的である。これによって、海外における資金調達源の確保と企業経営の国際化を進めている。本章ではニューヨーク証券取引所に上場しているブラジル企業の実態を分析している。個別のブラジル企業の海外戦略についてはPetrobras, JBS, Embraer, Marcopolo, Odebrechtの5社を取り上げている。

参考資料 ブラジル企業ファイル

国際化への意欲が高いブラジル企業 32 社のデータシート（1 社を 1 ページに収録）を作成。収録データは本社所在地、業種、ホームページ、株式上場市場、経営指標（売上高、利益、自己資本、従業員数）、沿革、主要な国内事業、海外事業、経営の特色、主な子会社群、企業ランキング誌の順位で構成している。